

協立病院の理念

人権と人格を尊重した、
こころとからだの総合診
療とケアを実践する

協立病院だより

No.83 2021年7・8月号
発行：みさと協立病院

〒341-0016 埼玉県三郷市田中新田273-1
TEL 048(959) 1811/FAX 048(959) 1819
<http://www.tokyo-kinikai.com/misato/>

コロナ禍で住民の命と健康をまもるために



岡本事務長：今日は新型コロナワクチン接種で活躍している中堅職員の皆さんに集まっています。まもなく一ヵ月になりますとする接種についての現況報告や今後の展望をお話ししていただきます。

○特に重視したのは安全対策

薬剤師勇内山さん：取り組むにあたって一番重視したのが、安全性の確保です。当院は超低温冷凍庫（ディープフリーザー）を設置する「基本型接種施設」に指定されていますの

で、ワクチンの温度管は協立病院ははじめての方

岡本事務長：接種に来る方はほとんどが「み

る方ばかりです。

看護師村上さん：ワクチ

ン接種は近隣の高齢者施設にも訪問して実

施しています。外来接種と施設接種では流れも安全対策も違うところが多いのですが、こちらも毎回振り返りを行い、改善につなげています。

看護師村上さん：かか

ります。

薬剤師勇内山さん：ワ

クチン接種を入り口に

して病院全体と多職

種が今までなかつた

ような経験を引き続き蓄積したいです。医療

安全をさらに重視した

取り組みを進めていき

たいと思います。

（了）

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

友の会だより

編集 みさと協立友の会

048-959-1811 No.83

ちよつと
いい話
⑩

敬愛する ゆき子先生

この歳（喜寿）にな
つて先生を得た。
早稲田1丁目の駒井
きもの学院の駒井ゆき
子先生がその人。
実年齢より10歳は若
く見え、にこやかで折
り目正しく、着物への
情熱は人一倍。

きもの学院埼玉連盟
元委員長、全日本きもの
コンサルタント協会
埼玉県元支部長などを
歴任、海外着物ショー
参加も33カ国になる。
私が駒井先生を知つ
たのは、ひょんなこと
からだつた。

昨年4月、駒井先生
のお店「きものサロン
和装」を訪ねた。

三波春夫のサイ入り
浴衣地からつくつたマ
スクが評判だつた。
三波春夫といえば
「お客様は神様」。私の
故郷に近い新潟県旧越
路町生まれの歌手。

店内には仕上がり
着物、縫い中の着物、
さまざまな反物が置か
れていた。

「そうだつたの」
通いが始まつた。
週1回1時間半から
受けてくれた。
やがて私の「駒井塾」
（玄間太郎）

心の中で小躍りした。
作品のあらすじ、登
場人物などを話し、織
物の先生になつてくれ
るよう懇願した。

唐突だつたが私は思
い切つてお願ひした。
「着物や織物につい
て教えていただけませ
んか。実は…」